

## 【概要】

# 2015年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【民間住宅ローン利用者編】(第1回)

## I 調査の概要

本調査は、調査対象期間(2015年3月～2015年6月)に民間住宅ローン(フラット35を含む。)の借入れをされた方を対象とし、利用した住宅ローンの金利タイプや住宅ローン選びに関する事項について、インターネットによるアンケート調査を実施し、その結果を取りまとめたものです。(回答数:1,009件)

## II 調査結果の主なポイント

※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

### 1 「全期間固定型」の利用割合は38.0%と増加、「変動型」は35.8%と減少<p. 2>

- ・「全期間固定型」の利用割合は、38.0%(前回調査:27.1%)と増加
- ・「固定期間選択型」は、26.3%(前回調査:31.3%)と減少
- ・「変動型」は、35.8%(前回調査:41.7%)と減少

(注)本調査項目は、隔月に速報として公表している「金利タイプ別利用状況」を、4か月ごとにまとめて確報として集計したものです。

### 2 今後1年間の住宅ローン金利見通しは、全体では「ほとんど変わらない」が減少<p. 9>

- ・今後1年間の住宅ローン金利見通し(全体)は、「ほとんど変わらない」が50.6%(前回調査:55.2%)と減少し、一方で「見当がつかない」は12.1%(前回調査:7.5%)と増加

### 3 利用した住宅ローンを選んだ決め手は、「金利が低いこと」が圧倒的に多い<p. 14>

- ・利用した住宅ローンを選んだ決め手は、「金利が低いこと」が59.3%(前回調査:65.3%)と圧倒的多数
- ・「将来の返済額をあらかじめ確定しておきたかったから」は、16.0%と前回の5番目から3番目へ上昇